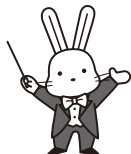


最近、福島市であったことをピックアップして市民の皆さんにお伝えします。



## 古関裕而記念館 入館者60万人達成！



▲右から前賞の柳原雅子<sup>やなぎはらまさこ</sup>さん、60万人目の加納麗子<sup>かのうれいこ</sup>さん、後賞の大野富美<sup>おののふみ</sup>さん

11月25日、古関裕而記念館(以下記念館)の入館者が60万人を達成しました。60万人目となった東京都荒川区からお越しの加納麗子さんに、記念品と花束を贈呈しました。

昭和63年に開館し、28年を迎えた記念館。福島市名誉市民第1号である作曲家・古関裕而氏の作曲した楽譜やゆかりの品など約600点の資料が展示され、古関メロディーの原点に触れます。皆さんもぜひお越しください。



## 古関裕而・金子夫妻を朝ドラの主人公に！ ～インターネットでも署名ができます！～

1964年の東京オリンピック開会式の入場行進曲「オリンピック・マーチ」を作曲した古関裕而氏。福島市では2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催に合わせて、古関裕而氏と、その妻・金子氏を主人公にした連続テレビ小説(通称「朝ドラ」)の実現に向けて署名活動を行っています。インターネットでも署名できるようになりました。皆さんのご協力をお願いします。

※インターネットでの署名方法など詳しくは市ホームページをご覧ください(右のQRコードからも閲覧可)、お問い合わせください。

■問/文化課 ☎525-3785



## ふるさとに残る美しい 「茅葺き屋根」を守る！

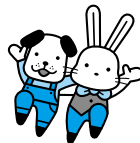


▲民家園内の展示館に復原した古民家の小屋組を利用して、茅葺き技術の実演指導を受ける参加者の皆さん

12月4日、「福島市かやぶき屋根保存事業」の一環として、大内宿(下郷町)の茅葺き職人である「大内宿 結いの会」顧問の吉村徳男<sup>よしかみ とくお</sup>さんを講師に、茅の葺き方教室を開催しました。

平成27年度から始動した「福島市かやぶき屋根保存事業」は、減少する茅葺き建築を地元の材料と市民の力で保存・伝承していくため、講習会や葺き替え工事見学会、茅刈りなどを行い、茅葺きの魅力と希少性をお伝えしてきました。今回は、実習を通して参加者の皆さんが伝統技術を習得する第一歩となりました。

今後も、葺き方講習会・茅刈りの体験事業などを開催し、茅葺き建築を守る伝統技術を伝えていきます。



## 福島市がスイス連邦との ホストタウンに登録！

12月9日、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向け、福島市はスイス連邦のホストタウンとして国に登録されました。

「ホストタウン」とは、2020年東京オリンピック・パラリンピックに参加する国や地域と、スポーツや芸術文化、経済などさまざまな分野の相互交流を行う地方公共団体のことです。

市は、平成29年度からさまざまな分野での親善交流事業を実施し、本市の復興の情報発信と風評払拭、インバウンドの推進やスポーツ・文化と産業の振興を図っていきます。ぜひ皆さんも一緒に交流し、2020年東京オリンピック・パラリンピックでは「日本」と「スイス連邦」を応援しましょう！